



あれから10年 原発事故は終わっていない 3.13アクション!!

3月13日福島県いわき市で「あれから10年原発事故は終わっていない3.13アクション!!」を行いました。例年通りなら「フクシマ連帯キャラバン」という形で脱原発を訴えてきましたが、今回コロナによる活動自粛のため、県外移動が出来ず被災地であるいわき市独自のアピール行動となりました。

今回、青年層が脱原発を訴えたい気持ちを発信し、地元の各労働組合と各政党がそれに答えてくれ、プラカードを使用したアピール行動を行う予定でしたが、あいにくの悪天により野外での行動ではなく、屋内集会を開催し約300名が集まりました。



集会では、各団体の代表から、原発事故に対する思いや、今後の脱原発運動についての話があり、フクシマ連帯キャラバン代表として青年部からは「コロナ過でも脱原発を訴えていきたい。自分たち若い世代が本気で声をあげていかなければならない。」と訴えました。

事故から10年が経ち、地元でも原発に対する怖さ、危険さを認識していない人たちが多くなってきていることがとても危険だと感じます。原発事故を風化させない取り組みとして私たち若い世代から「脱原発」を訴えていかなければなりません。

今回は地域での行動となってしまいましたが、二度と原発事故が起きないように、これからの時代を担う若い世代で声を挙げ、今後も継続して活動していきたいと思います。

全港湾小名浜支部青年部
齋藤 直道



3月27日 福島原発事故10年さようなら原発首都圏集会が日比谷公園大音楽堂で開催されました。収容座席数 2653席ですが、感染防止対策の1300人に収容制限をかけ13時30分開会后、13時40分には1300人に達し、入場門を閉鎖するなど、多くのさようなら原発を願う人々が参集しました。



東北地方、
青年部の
参加者

全港湾中央本部、
北海道地方本部、
東北地方本部の
参加者の皆さん

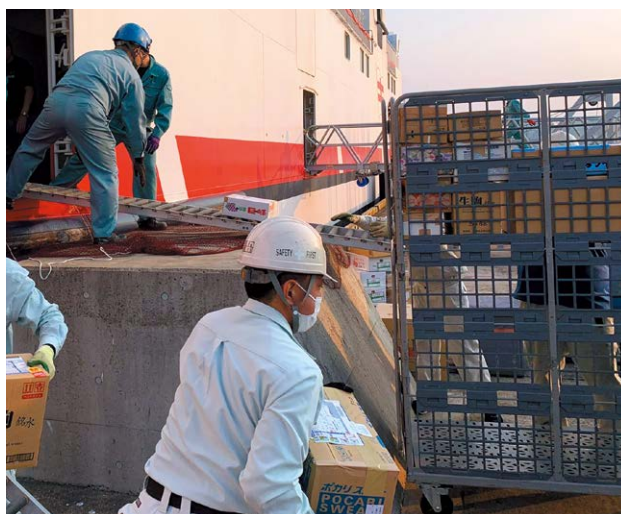


LOCAL 長崎

上五島航路の危機！島民の移動と生活物資を止めるな！ 全港湾長崎県支部が先頭に立ち奮闘！



棧橋の破損状況



手荷役作業中



昨年12月21日九州商船のフェリー「なみじ」が可動橋に衝突する事故が発生しました。保安庁立ち合いの結果、お客様は乗せて出航して良いとの許可が下り一安心していましたが、港湾管理者の佐世保市港湾部より破損した可動橋は使用しないようとの通達が来たために、通常であれば生活物資等をコンテナに乗せトラックへ積みフェリーへ乗せる作業を行っていたのですが、これを一切出来なくなってしまい、島民や車でさえ運ぶことができなくなりました。

しかし、離島の方々の輸送を止めるわけにはいかなかったために、まずは生活物資、郵便物などを手作業でフェリーに積み込む作業に切り替えました。

建築資材などは大型トラックへ積み込み、博多港や長崎港へ陸上輸送し、そこから出港するフェリー使用へと切り替えていきました。

しかし定期船であるフェリーの出航時刻を大幅に遅らせることとなり、労働時間が過剰なものになり体が悲鳴を上げていました。

会社の対応が遅れる中、長崎県支部の小野委員長が「これでは組合員の疲労が溜りつぶれてしまう！」「何かいい方法があるはず！」と企画立案をしてフェリーの着岸する棧橋にクレーン車を設置し、手作業でやっていた積み込みをコンテナやパレットのまま直接フェリー後方より船内へ積み込むという作業方法と貨物船をチャーターし夜間に積み込む提案でした。

しかし、この作業を行うためには、佐世保市港湾管理者の許可が必要なことから、長崎県支部が佐世保市と何度も話し合いを重ねた結果、クレーン車の棧橋設置が許可され同支部加盟店社である「佐世保港湾運輸」に協力を依頼し、50トンラフタークレーンをバージ輸送。海上クレーンを使用し棧橋に設置し、荷物をスムーズに積み込むことができ、フェリーが定刻に出航する事が可能となりました。

夕方に荷物を積んだ大型トラックで博多港や長崎港への移送作業は22時までの作業となり、翌日は早朝4時半から仕事というハードな内容であった為、建築資材など大型貨物については貨物船をチャーターし内航船輸送に切り替えました。

またこの貨物船作業には、小野委員長自らデッキマンや船内作業等の先頭に立ち、更には労働者供給事業を活用しながら、休憩時間など改善がなされ組合員の疲労が軽減されました。

2か月半という期間ではありましたが、無事に大きな事故もなく乗り越えることが出来ました！今回このようなことがあり、多くの方々にご迷惑をおかけしましたが、小野委員長をはじめ組合員の皆様のご協力に本当に感謝いたします！

こんなに沢山の全港湾の仲間がいるというのは本当に素晴らしく誇りに思います！

今後この経験を活かし、今よりさらに組合活動に励み、全港湾を盛り上げていこうと思います！

長崎県支部書記次長
松崎 大悟



はしけによる移動式クレーンの設置



貨物船夜間積込作業



事故発生時記事：長崎新聞 Web サイト
<https://this.kiji.is/715362464605290496>



作業終了時：長崎新聞 Web サイト
<https://news.yahoo.co.jp/articles/7af7e6da9f3565c72569f1fef463d7c14a2dc4b4>

小野委員長コメント有り